

平成 23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震 に際しての首都圏の企業における帰宅困難 者対応の実態調査

(調 査 票)

平成23年3月11日東北地方太平洋沖地震に際しての 首都圏の企業における帰宅困難者対応の実態調査

I. 基礎調査

※本調査は、本社における帰宅困難者対応等についてお伺いします。ここでの本社とは、形式上ではなく、貴社の各種業務を統括する実態上の本社機能を持つ組織全体についてお答え下さい。

例1) 持ち株会社の場合

本調査は、社屋に着目した調査ですので、持ち株会社等の場合で傘下の本社機能が同一のビルに入居している場合は、持ち株会社が当該傘下の本社機能全体をまとめていただいてもかまいません。

一方、傘下の事業会社が別ビルで所在している場合は、当該事業会社ごとにお答え下さい。

例2) 小売業、外食産業、金融機関の場合

店舗ではなく本社または本部機能が入居しているビルの対応についてお答え下さい。店舗が同一ビルに併設されている場合は店舗もまとめていただいてもかまいません。

なお、個別の店舗等での対応は、問46でお答えいただくことになります。

例3) 製造業の場合

本社工場が本社機能と同一拠点の場合は、まとめてお答え下さい。一方、別拠点の場合は本社機能を持つ拠点の対応をお答え下さい。

なお、個別の工場等での対応は、問46でお答えいただくことになります。

[問1] 貴社は以下のいずれの団体に属していますか。

本実態調査は、日本経済団体連合会及び商工会議所（東京・神奈川・千葉・埼玉の一都三県に所在する商工会議所）の会員企業の「本社」を対象として行っています。

以下の選択肢から該当するものを一つ選択して「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 日本経済団体連合会
<input type="checkbox"/>	2. 商工会議所（東京・神奈川・千葉・埼玉の一都三県に所在する商工会議所）
<input type="checkbox"/>	3. 双方の団体の会員である

→ 3とご回答の場合、日本経済団体連合会及び日本商工会議所の双方から同様の調査依頼がありますが、いずれか一方でお答えいただければ結構です。双方でご回答いただく必要はありません。

[問2] 貴社名・ご担当者

回答内容について、場合によっては詳しくお伺いしたいと思いますので、差し支えなければ、貴社名、ご担当者名、ご連絡先をご記入下さい。

貴社名	<input type="text"/>
ご担当者氏名	<input type="text"/>
ご連絡先	<input type="text"/>

[問3] 本社の所在地はどちらですか。

登記上ではなく実態上の本社機能の所在地をお答え下さい。

<input type="text"/>	都県	<input type="text"/>	区市町村
----------------------	----	----------------------	------

[問4] 貴社の事業内容はどのようなものですか。別紙の事業内容の分類の中から最も近いものを一つだけ選び選択して下さい。

事業内容	<input type="text"/>
------	----------------------

[問5] 本社は自社ビルですか。テナントビルに入居していますか。

以下の選択肢から該当するものを一つ選択して「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 自社ビル
<input type="checkbox"/>	2. テナント

[問6] 本社の事業所の形態及び収容人数をお答え下さい。

以下の選択肢から最も近いものを一つ選択して「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 店舗・飲食店	収容人数	<input type="checkbox"/>	人
<input type="checkbox"/>	2. 事務所・営業所			
<input type="checkbox"/>	3. 工場・作業所・鉱業所			
<input type="checkbox"/>	4. 輸送センター・配送センター・車庫			
<input type="checkbox"/>	5. その他			

※収容人数については、消防計画等を作成する根拠となっている消防法において、「防火対象物に出入りし、勤務し、又は居住する者の数」を収容人員と定義されていますので、参考にして下さい（収容人員の具体的な算定方法は消防法施行規則第1条の3に示されています）。

[参照 : <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S36/S36F04301000006.html>]

[問7] 本社の従業員数はおおよそ何人ですか。

従業員には、正社員に加え、パート職員、アルバイト、派遣社員を含みます。

以下の選択肢から最も近いものを一つ選択して「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. ~29人
<input type="checkbox"/>	2. 30~49人
<input type="checkbox"/>	3. 50~99人
<input type="checkbox"/>	4. 100~199人
<input type="checkbox"/>	5. 200~299人
<input type="checkbox"/>	6. 300~499人
<input type="checkbox"/>	7. 500~999人
<input type="checkbox"/>	8. 1,000人~

[問8] 貴社は、一都三県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）のうち本社以外に支社等の事業所はありますか。

<input type="checkbox"/>	1. ある
<input type="checkbox"/>	2. ない

■事業内容の分類 (問4 関係)

事業内容は、総務省統計局による日本標準産業分類(平成19年11月改定)による大分類・中分類を参考としています。

参考: 日本産業標準分類(平成19年11月改定)

[参照 : <http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-3-1.htm#a>]

分類	内容
1. 農業、林業	
2. 漁業	漁業、水産養殖業 等
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	金属鉱業、石炭・亜炭鉱業、原油・天然ガス鉱業、採石業、窯業 原料用鉱物鉱業 等
4. 建設業	土木建築工事業、建築工事業、木造建築工事業、建築リフォーム 工事業、大工工事業、左官工事業、塗装工事業、設備工事業 等
5. 製造業	食料品、飲料・飼料、繊維、衣服、木材・木製品、家具、パル プ・紙、印刷業、化学、石油製品、プラスチック製品、ゴム製 品、革製品、窯業、鉄鋼、金属製品、機械器具、電子部品 等
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	問合せ先
7. 情報通信業	通信業、放送業、ソフトウェア業、インターネット付随サービス 業、映像・音声情報製作・配給業、新聞業、出版業、広告制作業 等
8. 運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、倉庫業、郵 便業 等
9. 卸売業、小売業	各種商品・製品卸売業、百貨店・スーパー等各種小売業
10. 金融業、保険業	銀行業、協同組織金融業、貸金業、証券業、保険業 等
11. 不動産業、物品賃貸業	建物土地売買業、不動産代理仲介業、不動産賃貸業、駐車場業、 物品賃貸業 等
12. 学術研究、専門・技術サービス業	学術・開発研究機関、法律事務所・特許事務所、司法書士事務 所・土地家屋調査士事務所、行政書士事務所、公認会計士事務 所・税理士事務所、社会保険労務士事務所、デザイン業、著述・ 芸術家業、経営コンサルタント業、興信所、翻訳業、通訳業、不 動産鑑定業、広告業、獣医業、建築設計業、測量業、機械設計 業、商品・非破壊検査業、写真業 等
13. 宿泊業	旅館、ホテル、簡易宿所、下宿業、会社・団体の宿泊所 等
14. 飲食サービス業	食堂、レストラン、料理店、酒場・ビヤホール、バー・キャバ レー・ナイトクラブ、喫茶店、持ち帰り・配達飲食サービス業
15. 生活関連サービス業	洗濯業、理容業、美容業、公衆浴場業、エステティック業、旅行 業、家事サービス業、衣服裁縫修理業、物品預り業、火葬・墓地 管理業、冠婚葬祭業、結婚相談業・結婚式場紹介業、写真現像・ 焼付業 等
16. 娯楽業	映画館、劇場・劇団、競輪・競馬等の競走場・競技団、ゴルフ 場・ボウリング場・フィットネスクラブ等のスポーツ施設提供 業、公園・遊園地、遊戯場、ダンスホール・カラオケボックス等 その他の娯楽業 等
17. 教育、学習支援業	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、公民館、図書 館、博物館・美術館、動物園・植物園・水族館、職業・教育支援 施設、学習塾、教養・技能教授業 等
18. 医療業、保健衛生	病院、一般診療所、歯科診療所、助産・看護業、療術業、健康相 談所 等
19. 社会保険・社会福祉・介護事業	社会保険事業団体、福祉事務所、保育所、老人福祉・介護事業、 障害者福祉事業 等
20. 複合サービス事業	郵便局、郵便局受託業、農業協同組合等の協同組合 等
21. サービス業〔他に分類されないもの〕	廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者 派遣業、速記・ワープロ入力・複写業、ビルメンテナンス業、警 備業、政治・経済・文化団体、宗教、集会場、と畜場、外国公館
22. その他	1.～21.にあてはまらないもの

Ⅱ. 3月11日の東北地方太平洋沖地震の際の従業員への対応

[問9] 3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生に際して、本社の従業員に対して帰宅について何らかの方針を示しましたか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 方針を示した（従業員に対して帰宅するよう推奨した又は帰宅しないよう推奨した）
- 2. 方針を示さなかった（従業員の自主的な判断にゆだねた）

→ [問10] （問9で1と回答した場合）帰宅の方針は全社的に示したものですか。それとも本社の従業員に限り示したものですか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 全社的に示したもの
- 2. 本社の従業員に限り示したもの

→ [問11] （問9で1と回答した場合）貴社では、首都直下地震を想定してあらかじめ帰宅ルール（帰宅の可否判断基準等）を決めていましたか。また、3月11日にはそのルールを適用しましたか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 事前に帰宅ルールを決めており、そのルールを適用した
- 2. 事前に帰宅ルールを決めていたが、そのルールは適用しなかった
- 3. 事前に帰宅ルールは決めていなかった

→ [問12] （問9で2と回答した場合）その理由は何ですか。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。（理由として該当しないものは、空欄でかまいません。）

- 1. 継続すべき業務があったため
- 2. 特別な方針を示す程度の災害ではないと判断したため
- 3. 終業時間後の帰宅は従業員個人が判断すべきと考えたため
- 4. 従業員の帰宅手段・距離は様々であり、統一した方針を示せなかったため
- 5. 交通機関の運行等に関する情報の推移を見守ったため
- 6. 方針を出すための判断基準が会社としてあらかじめ決まっていなかったため
- 7. 職場に待機させる根拠がなかったため（業務命令とすべきかどうか判断できなかったため）
- 8. その他

→ (自由回答)

→ 問9で2と回答した場合、問12を回答した後、問22に進んで下さい。

[問13] 本社の従業員に対する帰宅に関する方針を決めたのは1回のみですか。それとも情勢の変化に応じて変更を加えましたか。

「回答欄」に回数をご記入下さい。

回

※帰宅に関する方針を複数回出した場合は、問14～問17を回数分お答え下さい。

※3月12日12時頃の鉄道機関の大部分が再開した時点までお答え下さい。

※回答は4回目までの判断で結構です。

これ以上の場合には大きな方針転換のみをお答え下さい。

[問14] 帰宅に関する方針を出したのはいつですか。

下記の選択肢に数字をご記入下さい。（夕方の5時は17時と記入）

3月 日 時台

[問15] 帰宅に関する方針は、どのような内容でしたか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 全ての従業員に対して職場に留まるように呼びかけた
<input type="checkbox"/>	2. 特に帰宅を希望する従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた (事情を抱える従業員は、帰宅するように呼びかけた)
<input type="checkbox"/>	3. 短距離で徒歩帰宅できる従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた (短距離で徒歩帰宅できる従業員は、帰宅するように呼びかけた)
<input type="checkbox"/>	4. 災害対応要員以外の従業員は、帰宅するように呼びかけた
<input type="checkbox"/>	5. 全ての従業員に対して帰宅するように呼びかけた
<input type="checkbox"/>	6. その他
→ (自由回答)	
<input type="text"/>	

→ [問16] (問15で1～3と回答した場合) 帰宅を推奨しなかった理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。（理由として該当しないものは、空欄でかまいません。）

<input type="checkbox"/>	1. 長時間（1時間以上）にわたって徒歩で帰宅することは危険と判断したため
<input type="checkbox"/>	2. 道路が混雑していたため
<input type="checkbox"/>	3. 鉄道の全て又は多くが運行していなかったため
<input type="checkbox"/>	4. 夜になったため
<input type="checkbox"/>	5. 3月11日以前から首都圏で大地震が発生した場合には職場で待機する方針を決めていたため
<input type="checkbox"/>	6. 入居するビル全体が職場で待機することを勧めていたため
<input type="checkbox"/>	7. 政府や自治体がむやみに移動を開始せず職場に留まるよう呼びかけていたため
<input type="checkbox"/>	8. その他
→ (自由回答)	
<input type="text"/>	

→ [問17] (問15で2～5と回答した場合) 帰宅を推奨した理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

<input type="checkbox"/>	1. 早期に帰宅させる方が安全と判断したため
<input type="checkbox"/>	2. 従業員から帰宅の要望があったため
<input type="checkbox"/>	3. 会社に備蓄用の食料、飲料水がなかったため
<input type="checkbox"/>	4. 鉄道の運行が再開したため
<input type="checkbox"/>	5. 安全に帰れると判断したため
<input type="checkbox"/>	6. 職場待機は業務命令になることを懸念したため
<input type="checkbox"/>	7. 周辺の企業が帰宅を開始したため
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)

※帰宅方針を複数回出された場合は、問18～問21を回数分お答え下さい
(4回まで)。

※P. 8～P. 13をご確認ください。

<2回目の方針>

[問18] 帰宅に関する方針を出したのはいつですか。

下記の選択肢に数字をご記入下さい。(夕方の5時は17時と記入)

3月 日 時台

[問19] 帰宅に関する方針は、どのような内容でしたか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 全ての従業員に対して職場に留まるように呼びかけた
- 2. 特に帰宅を希望する従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた
(事情を抱える従業員は、帰宅するように呼びかけた)
- 3. 短距離で徒歩帰宅できる従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた
(短距離で徒歩帰宅できる従業員は、帰宅するように呼びかけた)
- 4. 災害対応要員以外の従業員は、帰宅するように呼びかけた
- 5. 全ての従業員に対して帰宅するように呼びかけた
- 6. その他

(自由回答)

→ [問20] (問19で1～3と回答した場合) 帰宅を推奨しなかった理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

- 1. 長時間(1時間以上)にわたって徒歩で帰宅することは危険と判断したため
- 2. 道路が混雑していたため
- 3. 鉄道の全て又は多くが運行していなかったため
- 4. 夜になったため
- 5. 3月11日以前から首都圏で大地震が発生した場合には職場で待機する方針を決めていたため
- 6. 入居するビル全体が職場で待機することを勧めていたため
- 7. 政府や自治体がむやみに移動を開始せず職場に留まるよう呼びかけていたため
- 8. その他

(自由回答)

↳ [問21] (問19で2～5と回答した場合) 帰宅を推奨した理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

<input type="checkbox"/>	1. 早期に帰宅させる方が安全と判断したため
<input type="checkbox"/>	2. 従業員から帰宅の要望があったため
<input type="checkbox"/>	3. 会社に備蓄用の食料、飲料水がなかったため
<input type="checkbox"/>	4. 鉄道の運行が再開したため
<input type="checkbox"/>	5. 安全に帰れると判断したため
<input type="checkbox"/>	6. 職場待機は業務命令になることを懸念したため
<input type="checkbox"/>	7. 周辺の企業が帰宅を開始したため
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)

<3回目の方針>

[問18] 帰宅に関する方針を出したのはいつですか。

下記の選択肢に数字をご記入下さい。(夕方の5時は17時と記入)

3月 日 時台

[問19] 帰宅に関する方針は、どのような内容でしたか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 全ての従業員に対して職場に留まるように呼びかけた
- 2. 特に帰宅を希望する従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた
(事情を抱える従業員は、帰宅するように呼びかけた)
- 3. 短距離で徒歩帰宅できる従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた
(短距離で徒歩帰宅できる従業員は、帰宅するように呼びかけた)
- 4. 災害対応要員以外の従業員は、帰宅するように呼びかけた
- 5. 全ての従業員に対して帰宅するように呼びかけた
- 6. その他

(自由回答)

→ [問20] (問19で1～3と回答した場合) 帰宅を推奨しなかった理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

- 1. 長時間(1時間以上)にわたって徒歩で帰宅することは危険と判断したため
- 2. 道路が混雑していたため
- 3. 鉄道の全て又は多くが運行していなかったため
- 4. 夜になったため
- 5. 3月11日以前から首都圏で大地震が発生した場合には職場で待機する方針を決めていたため
- 6. 入居するビル全体が職場で待機することを勧めていたため
- 7. 政府や自治体がむやみに移動を開始せず職場に留まるよう呼びかけていたため
- 8. その他

(自由回答)

↳ [問21] (問19で2～5と回答した場合) 帰宅を推奨した理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

<input type="checkbox"/>	1. 早期に帰宅させる方が安全と判断したため
<input type="checkbox"/>	2. 従業員から帰宅の要望があったため
<input type="checkbox"/>	3. 会社に備蓄用の食料、飲料水がなかったため
<input type="checkbox"/>	4. 鉄道の運行が再開したため
<input type="checkbox"/>	5. 安全に帰れると判断したため
<input type="checkbox"/>	6. 職場待機は業務命令になることを懸念したため
<input type="checkbox"/>	7. 周辺の企業が帰宅を開始したため
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)

<4回目の方針>

[問18] 帰宅に関する方針を出したのはいつですか。

下記の選択肢に数字をご記入下さい。(夕方の5時は17時と記入)

3月 日 時台

[問19] 帰宅に関する方針は、どのような内容でしたか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 全ての従業員に対して職場に留まるように呼びかけた
- 2. 特に帰宅を希望する従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた
(事情を抱える従業員は、帰宅するように呼びかけた)
- 3. 短距離で徒歩帰宅できる従業員以外は、職場に留まるように呼びかけた
(短距離で徒歩帰宅できる従業員は、帰宅するように呼びかけた)
- 4. 災害対応要員以外の従業員は、帰宅するように呼びかけた
- 5. 全ての従業員に対して帰宅するように呼びかけた
- 6. その他

(自由回答)

→ [問20] (問19で1～3と回答した場合) 帰宅を推奨しなかった理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

- 1. 長時間(1時間以上)にわたって徒歩で帰宅することは危険と判断したため
- 2. 道路が混雑していたため
- 3. 鉄道の全て又は多くが運行していなかったため
- 4. 夜になったため
- 5. 3月11日以前から首都圏で大地震が発生した場合には職場で待機する方針を決めていたため
- 6. 入居するビル全体が職場で待機することを勧めていたため
- 7. 政府や自治体がむやみに移動を開始せず職場に留まるよう呼びかけていたため
- 8. その他

(自由回答)

↳ [問21] (問19で2～5と回答した場合) 帰宅を推奨した理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄でかまいません。)

<input type="checkbox"/>	1. 早期に帰宅させる方が安全と判断したため
<input type="checkbox"/>	2. 従業員から帰宅の要望があったため
<input type="checkbox"/>	3. 会社に備蓄用の食料、飲料水がなかったため
<input type="checkbox"/>	4. 鉄道の運行が再開したため
<input type="checkbox"/>	5. 安全に帰れると判断したため
<input type="checkbox"/>	6. 職場待機は業務命令になることを懸念したため
<input type="checkbox"/>	7. 周辺の企業が帰宅を開始したため
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)

[問22] 3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生した頃（午後3時頃）に本社にいた従業員のうち、普段の通勤で鉄道を使っていて鉄道の運行再開前に帰宅した従業員、普段の通勤で鉄道を使っていて鉄道の運行再開まで職場に待機してその後帰宅した従業員のおおよその割合をお答え下さい。

下記の「回答欄」に数字（10の単位で整数）でご記入下さい。（例：30%）

1. 普段の通勤で鉄道を使っていて、鉄道の運行再開前に帰宅した従業員	<input type="text"/>	%
2. 普段の通勤で鉄道を使っていて、鉄道の運行再開まで職場に待機した後帰宅した従業員	<input type="text"/>	%
3. その他・不明（通勤に鉄道を利用していない等）	<input type="text"/>	%

[問23] 鉄道の運行再開前に帰宅する従業員に対し、何らかの支援を行いましたか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 非常用持ち出し袋を配布した
<input type="checkbox"/>	2. ヘルメットを配布した
<input type="checkbox"/>	3. 食料を配布した
<input type="checkbox"/>	4. 飲料水を配布した
<input type="checkbox"/>	5. 帰宅支援マップを配布した
<input type="checkbox"/>	6. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)
<input type="text"/>	
<input type="checkbox"/>	7. 特に支援はしていない

[問24] 特に徒歩で帰宅する従業員に対して、何らかのルールを示しましたか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 同帰宅方向のグループで帰宅するようにした
<input type="checkbox"/>	2. 女性従業員が一人で帰宅しないようなグループ編成で帰宅するようにした
<input type="checkbox"/>	3. 帰宅後に上長等に報告するルールとした
<input type="checkbox"/>	4. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)
<input type="text"/>	
<input type="checkbox"/>	5. 特にルールは示さなかった

↳ [問25] 職場に待機する従業員に対し、どのような支援を行いましたか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 待機スペース（会議室等）を開放した
<input type="checkbox"/>	2. TVを放映した
<input type="checkbox"/>	3. 地震情報、被害情報、交通機関の運行再開情報などをイントラネット等で情報提供した
<input type="checkbox"/>	4. 地震情報、被害情報、交通機関の運行再開情報などを逐次社内で放送等をした
<input type="checkbox"/>	5. 食料を提供した
<input type="checkbox"/>	6. 飲料水を提供した
<input type="checkbox"/>	7. 毛布、寝袋等の宿泊用品を提供した
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)
<input type="checkbox"/>	9. 特になし

[問26] 従業員の帰宅の判断や職場待機の実施に関して、会社・事業所としてどのようなことに困りましたか。どのようなことでも結構ですので、自由にご記入ください。

(自由回答)

Ⅲ. 従業員に対する帰宅困難者対策の取組

以下では、首都直下地震が発生した場合の対応方針についてお伺いします。

※ここでいう首都直下地震とは、首都圏で発生するマグニチュード7クラスの地震で首都圏の広い範囲で震度6弱～震度6強の揺れが想定されるものを指しています。そのため、電気、ガス、水道、固定電話等のインフラが数日間以上使えず、また、交通機関の停止によって多くの帰宅困難者が発生します（首都直下地震では帰宅困難者が650万人発生することが想定されています。）。

※場所によっては、大規模な火災や津波等のため速やかな避難が求められることがありますが、本調査においては、そうした事象が社屋近くで発生していないことを前提にお答え下さい。

[問27] 首都直下地震時の従業員の帰宅ルールとしてどのようなものを考えていますか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」にご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 全ての従業員に対して翌朝以降又は交通機関の運行が回復するまで職場に待機させる
<input type="checkbox"/>	2. 特に帰宅を希望する従業員以外は、1.のように職場に待機させる (子供等の事情を抱える従業員は、早期に帰宅させる)
<input type="checkbox"/>	3. 短距離で徒歩帰宅できる従業員以外は、1.のように職場に待機させる (短距離で徒歩帰宅できる従業員は、早期に帰宅させる)
<input type="checkbox"/>	4. 災害対応要員以外の従業員は、早期に帰宅させる
<input type="checkbox"/>	5. 全ての従業員を早期に帰宅させる
<input type="checkbox"/>	6. 終業時間までは基本的に職場に待機させるが、終業時間後については従業員の判断にゆだねる
<input type="checkbox"/>	7. その他
	(自由回答)
<input type="checkbox"/>	8. 特にルールは考えていない
	(自由回答)
その理由は	

[問28] (問27で4又は5と回答している場合) その理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 3月11日に徒歩帰宅が可能であったため
<input type="checkbox"/>	2. 職場に待機させることが社屋の耐震性などの面から安全でないため
<input type="checkbox"/>	3. 会社に従業員向けの食料、飲料水等の備蓄がないため
<input type="checkbox"/>	4. 終業時間後も職場に待機させることは、超過勤務や業務命令などの労務管理上の問題があるため
<input type="checkbox"/>	5. その他
	(自由回答)

[問29] 貴社の帰宅困難者対策の実施状況をお答え下さい。

下記の設問のそれぞれについて該当する「回答欄」に○をご記入下さい。

- 3月11日より前から実施している
- 3月11日を契機として実施した
- 3月11日を契機として実施を検討している

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 従業員向けの食料・飲料水などの備蓄
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 従業員個人による職場での食料・飲料水などの備蓄の推奨
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 安否確認システムの導入等による従業員等の安否確認・連絡体制の整備
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 従業員への災害用伝言ダイヤル等の家族等との安否確認手段の推奨
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 従業員への「むやみに移動を開始しない」といった基本原則の周知
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 帰宅行動ルール（帰宅方針等）のBCP（事業継続計画）等への記載
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 徒歩帰宅訓練等の帰宅困難者対策訓練への参加促進
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 帰宅困難者になった場合を想定したスニーカーや携帯食料の準備等に関する教育
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 帰宅支援マップなどの作成・配布・購入支援などに関する情報提供
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. その他
			(自由回答)
			<input type="checkbox"/>
			11. 特になし

[問30] (問29で1と回答した場合) 主な備蓄品ごとに、本社の全従業員あたりの備蓄量をお答え下さい。

下記の項目ごとに該当する備蓄量の一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

	半日分未満	半日分	1日分	2日分	3日分以上	7日分以上	備蓄はない
1. 飲料水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 食料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 災害用トイレ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 毛布	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[問31] 貴社の本社では、地震に備えて、ロッカーや書棚、OA機器等について、固定などの転倒・落下防止対策をしていますか。

下記の選択肢から該当するもの一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 3月11日より前から実施している
- 3月11日を契機として実施した
- 3月11日を契機として実施を検討している

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. ほぼすべてのロッカーや書棚、OA機器等の転倒・落下防止対策
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 一部のロッカーや書棚、OA機器等の転倒・落下防止対策
<input type="checkbox"/>			3. 対策も検討もしていない

[問32] 貴社の本社では、地震に備えて、ガラスにフィルムを貼るなど飛散防止対策をしていますか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 3月11日より前から実施している
- 3月11日を契機として実施した
- 3月11日を契機として実施を検討している

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. ほぼすべての窓や書棚等のガラスの飛散防止対策
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 一部の窓や書棚等のガラスの飛散防止対策
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 対策も検討もしていない

[問33] 貴社の本社では、自家発電設備を整備していますか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 3月11日より前から整備している
<input type="checkbox"/>	2. 3月11日を契機として整備した

自家発電設備の電力供給時間はおよそどのくらいですか。

<input type="checkbox"/>	①3時間未満
<input type="checkbox"/>	②3時間以上6時間未満
<input type="checkbox"/>	③6時間以上12時間未満
<input type="checkbox"/>	④12時間以上24時間未満
<input type="checkbox"/>	⑤24時間以上
<input type="checkbox"/>	⑥わからない
<input type="checkbox"/>	3. 整備していない
<input type="checkbox"/>	4. 整備しているかどうかわからない（建物所有者等に確認が必要 等）
<input type="checkbox"/>	5. 今後整備する予定である

[問34] 従業員の帰宅困難者対策の検討・実施に関して、自治体等への要望はありますか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 帰宅困難者の受入施設の増加
<input type="checkbox"/>	2. 帰宅困難者の受入施設の情報発信
<input type="checkbox"/>	3. 一斉帰宅抑制の必要性の周知広報
<input type="checkbox"/>	4. 職場待機の条例化などの明確なルール化
<input type="checkbox"/>	5. 職場における備蓄への費用補助
<input type="checkbox"/>	6. 自家発電設備設置への補助
<input type="checkbox"/>	7. 社屋の耐震化への費用補助
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	(自由回答)
<input type="checkbox"/>	9. 特になし

IV. 3月11日の東北地方太平洋沖地震の際の在館者（お客様や利用者）や地域の帰宅困難者への対応

3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生に際して、地震発災時に事業所（事務所、店舗、工場、倉庫等）の建物にいたお客様や施設の利用者（以下「在館者」という）や地震後に外部から事業所に来訪した帰宅困難者（以下「地域の帰宅困難者」という）に対して、本社ではどのような対応をとりましたか。

[問35-1] 地震発生時の本社の社屋内の在館者に対して

下記の選択肢から該当するものを一つ選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

- 問36を回答 ← 1. 鉄道の運行が再開されるまで、社屋内に留まっていたでいて構わないこととした
2. 通常の営業時間（就業時間）中は留まっていたでいて構わないこととしたが、その後は社屋外に誘導した
- 問40を回答 ← 3. 地震から間もないうちに社屋外へ誘導した
4. 特段の行為はしなかった
5. 従業員以外の者は平常時からほとんど社屋にはいない

（問35-1で1～3と回答の場合）その判断をしたのは、いつでしたか。

下記の回答欄に数字をご記入ください。（夕方の5時は17時と記入）

3月 日 時台

[問35-2] 地震発生時はいなかったが、地震後しばらくして本社の社屋に来館した地域の帰宅困難者に対して

下記の選択肢から該当するものを一つ選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

- 問37、42を回答 ← 1. 鉄道の運行が再開されるまで、外部の滞留者を積極的に社屋内に受け入れ、留まっていたでいて構わないこととした
- 問38を回答 ← 2. 自主的に来訪された方は、鉄道の運行が再開されるまで、社屋内に留まっていたでいて構わないこととした
3. 通常の営業時間（就業時間）中は留まって構わないこととしたが、その後は社屋外に誘導した
4. 社屋内に受け入れて留まっていたでいてはできなかったが、飲料水やトイレの提供などの支援は行った
- 問41を回答 ← 5. 社屋内に入れることはしなかった
6. 地震後に来訪者はほとんどいなかった

（問35-2で1～4と回答の場合）その判断をしたのは、いつでしたか。

下記の回答欄に数字をご記入下さい。（夕方の5時は17時と記入）

3月 日 時台

[問35-3] 一都三県に所在する他の事業所に対して

下記の選択肢から該当するものを一つ選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

- 問42を回答 ←
- 1. 在館者については、鉄道の運行が再開されるまで、事業者内に留まていただくように統一して指示した
 - 2. 在館者については、事業所外へ誘導するように統一して指示した
 - 3. 鉄道の運行が再開されるまで、地域の帰宅困難者を積極的に事業所内に受け入れるように統一して指示した
 - 4. 自主的に来訪された方は、鉄道の運行が再開されるまで、事業所内に受け入れるように統一して指示した
 - 5. 地域の帰宅困難者に対して、受入はできないが、飲料水やトイレの提供などの支援を行うよう統一して指示した
 - 6. 事業所ごとに適切に対応するよう指示した
 - 7. 特段の指示はしていない
 - 8. 従業員以外の者は平常時からほとんど事業所にはいない

↳ [問35-1]の回答が5かつ[問35-2]の回答が6かつ[問35-3]の回答が8の場合、問46へお進み下さい。

(問35-3で1～5と回答の場合) その判断をしたのは、いつでしたか。

下記の回答欄に数字をご記入下さい。(夕方の5時は17時と記入)

3月 日 時台

[問36] (問35-1で1と回答の場合) その対応の理由は何ですか。本社社屋での対応理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 在館者の安全確保のため
- 2. 本社社屋の周辺に帰宅困難者があふれていたため
- 3. 自社であらかじめ決めていた対応ルールに従ったため
- 4. 自治体から要請があったため
- 5. 企業の社会的責任として
- 6. その他

↳ (自由回答)

[問37] (問35-2で1と回答の場合) その対応の理由は何ですか。本社社屋での対応理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 地域の帰宅困難者の安全確保のため
- 2. 本社社屋の周辺に帰宅困難者があふれていたため
- 3. 自社であらかじめ決めていた対応ルールに従ったため
- 4. 自治体から要請があったため
- 5. 企業の社会的責任として
- 6. 比較的社屋の空間に余裕があったため
- 7. その他

→ (自由回答)

[問38] (問35-2で2と回答の場合) その対応の理由は何ですか。本社社屋での対応理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 地域の帰宅困難者の安全確保のため
- 2. 本社社屋の周辺に帰宅困難者があふれていたため
- 3. 自社であらかじめ決めていた対応ルールに従ったため
- 4. 自治体から要請があったため
- 5. 企業の社会的責任として
- 6. 比較的社屋の空間に余裕があったため
- 7. その他

→ (自由回答)

[問39] (問36~38を回答した場合) 本社社屋内に留まった在館者や地域の帰宅困難者に対してどのような支援を行いましたか。

下記の選択肢から該当するもの全て選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 備蓄していた食料・飲料水を提供した
- 2. 商品のうち飲食物を無償提供した
- 3. 毛布を提供した
- 4. 救急用品を提供した
- 5. 電話を無償で利用可能とした
- 6. 自治体等から入手した物資を提供した
- 7. 地震、交通機関の情報を提供した
- 8. その他

→ (自由回答)

- 9. 特になし

[問40] (問35-1で3と回答の場合) その対応の理由は何ですか。本社社屋での対応理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 建物の耐震性が不安であったため
- 2. 地震によって建物の損傷や落下物があったため
- 3. 在館者に留まっていただけの空間が無かったため
- 4. 対応する要員がいなかったため
- 5. 食料、飲料水の備蓄がなかったため
- 6. 本社社屋のセキュリティーに問題があったため
- 7. 在館者の怪我人等に対応できないため
- 8. 事業の再開に支障をきたす恐れがあったため
- 9. 社屋、設備、商品の損壊等が懸念されたため
- 10. その他

→ (自由回答)

[問41] (問35-2で5と回答の場合) その対応の理由は何ですか。本社社屋での対応理由をお答え下さい。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 建物の耐震性が不安であったため
- 2. 地震によって建物の損傷や落下物があったため
- 3. 外部からの帰宅困難者に留まっていただけの空間が無かったため
- 4. 対応する要員がいなかったため
- 5. 食料、飲料水の備蓄がなかったため
- 6. 本社社屋のセキュリティーに問題があったため
- 7. 怪我人等に対応できないため
- 8. 事業の再開に支障をきたす恐れがあったため
- 9. 社屋、設備、商品の損壊等が懸念されたため
- 10. その他

→ (自由回答)

[問42] (問35-2で1又は問35-3で3と回答の場合) 積極的に帰宅困難者を受け入れることとしたことを外部に対して情報発信しましたか。

- 1. 情報発信した
- 2. 情報発信しなかった

→ [問43] (問42で1と回答の場合) その理由は何ですか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入ください。

- 1. 地域の帰宅困難者をより多く受け入れるため
- 2. 自治体等から要請があったため
- 3. 他の企業が情報発信していたため
- 4. その他

→ (自由回答)

→ [問44] (問42で1と回答の場合) その手段は何ですか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入ください。

- 1. 自治体等を経由して情報発信した
- 2. マスコミを通じて情報発信した
- 3. 自社ホームページで情報発信した
- 4. 周辺の滞留者に呼び掛けた
- 5. その他

→ (自由回答)

→ [問45] (問42で2と回答の場合) その理由は何ですか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入ください。

- 1. 施設に余裕のある空間が少なかったから
- 2. 周囲の事業者が対応をしていなかったから
- 3. 混乱の発生が懸念されたから
- 4. その他

→ (自由回答)

[問46] 鉄道の運行が再開されるまで、在館者や地域の帰宅困難者を事業所内に留めたり、沿道で帰宅困難者を支援した貴社の事業所(事務所、店舗、工場、倉庫等)は、一都三県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)で本社を含めてどのくらいの事業所数がありましたか。

※ここで在館者とは、地震発生時に事業所(事務所、店舗、工場、倉庫等)の建物にいたお客さまや施設の利用者を指します。
また、地域の帰宅困難者とは、地震後に外部から事業所に来訪した人を指します。

	東京都所在			神奈川県所在			埼玉県所在		千葉県所在		
	23区	多摩地域	その他の地域	横浜市	川崎市	相模原市	その他の地域	さいたま市	その他の地域	千葉市	その他の地域
全事業所数											
うち在館者を留めた事業所数											
うち地域の帰宅困難者を留めた事業所数											
うち沿道で支援を行った事業所数											

問44を回答
問44、46を回答

→ 対応した事業所が「0」の場合は、問51へ進んで下さい。

[問47] 問46で回答した事業所内に留まった人は最大でおおよそ何人ですか。全事業所の合計をお答え下さい。

下記の回答欄に人数をご記入下さい。

最大約 人

うち最も多かった事業所の人数 人

→ 人数がご不明な場合は空欄で結構です。問48へ進んで下さい。

[問48] 問46で回答した事業所では、在館者や地域の帰宅困難者に対してどのような支援を行いましたか。

以下の支援内容を実施した事業所が多い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。
(該当しないものは空欄で構いません。)

- 1. 備蓄していた食料・飲料水を提供した
- 2. 商品のうち飲食物を無償提供した
- 3. 毛布を提供した
- 4. 救急用品を提供した
- 5. 電話を無償で利用可能とした
- 6. 自治体等から入手した物資を提供した
- 7. 地震、交通機関の情報を提供した
- 8. その他

→ (自由回答)

↳ [問49] (問46において沿道で支援を行った事業所があった場合) 沿道の帰宅困難者に対して行った支援は何ですか。

下記の支援内容から実施した事業所が多い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。(該当しないものは空欄で構いません。)

- 1. 備蓄していた食料・飲料水を提供した
- 2. 商品のうち飲食物を無償提供した
- 3. トイレを提供した
- 4. 水道を利用可能とした
- 5. 救急用品を提供した
- 6. 電話を無償で使用可能とした
- 7. 自治体等が開設する避難所・待機所を案内した
- 8. 地震、交通機関の情報を提供した
- 9. その他

↳ (自由回答)

[問50] (問46において在館者や地域の帰宅困難者を建物に留めた事業所があった場合) 従業員以外の方を事業所に留めたことで困ったことはありましたか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 営業フロアを開放したため、翌日の営業ができなかった
- 2. 不眠で対応したため、翌日営業の従業員が確保できなかった
- 3. 事業所内が汚れ、破損した
- 4. その他

↳ (自由回答)

- 5. 特になし

V. 首都直下地震発生時の在館者や地域の帰宅困難者への対応に関する取組

※ここでいう首都直下地震とは、首都圏で発生するマグニチュード7クラスの地震で首都圏の広い範囲で震度6弱～震度6強の揺れが想定されるものを指しています。そのため、電気、ガス、水道、固定電話等のインフラが数日間以上使えず、また、交通機関の停止によって多くの帰宅困難者が発生します（首都直下地震では帰宅困難者が650万人発生することが想定されています。）。

※場所によっては、大規模な火災や津波等のため速やかな避難が求められることがありますが、本調査においては、そうした事象が社屋近くで発生していないことを前提にお答え下さい。

下記の選択肢から全社的に最も近い考えのものを選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

[問51] 首都直下地震発生時に在館者の事業所内の待機ルールとしてどのようなものをお考えですか。会社全体としての考えをお答え下さい。

- 1. 建物に被害がなければ、全ての在館者に対して翌朝以降又は交通機関の運行が回復するまでに社屋内に待機させる
- 2. 移動を希望する在館者以外は、1.のように社屋内に待機させる
- 3. 地震発生後速やかに建物外へ誘導する
- 4. 基本は一時的に社屋内に待機させるが、その後は在館者の判断にゆだねる
- 5. 従業員以外の者は平常時からほとんど社屋にいない
- 6. その他

(自由回答)

- 7. 特にルールは考えていない

(自由回答)

その理由は

→ **[問52] (問51で1又は2と回答の場合) その理由は何ですか。会社全体としての考えをお答え下さい。**

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入下さい。（理由として該当しないものは、空欄で構いません。）

- 1. 在館者の安全確保のため
- 2. 事業所周辺に帰宅困難者があふれることが予想されるため
- 3. 周辺の事業所も受入れ対応するため
- 4. 政府や自治体が帰宅困難者受入れを呼びかけているため
- 5. 東日本大震災で受入れ対応して評判が良かったため
- 6. 東日本大震災で受入れ対応せずに評判が悪かったため
- 7. その他

(自由回答)

[問53] 外部からの来訪者については、どのように対応される考えですか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

- 1. 積極的に受け入れた上で、在館者と同様の対応をとる
- 2. 自主的に来訪した方については、在館者と同様の対応をとる
- 3. 外部からの来訪者は、建物内に受け入れない
- 4. その他

(自由回答)

→ [問54] (問53で3と回答の場合)その理由は何ですか。会社全体としての考えをお答えください。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入ください。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 建物の耐震性が不安であるため
- 2. 外部からの帰宅困難者に溜まっていただけの空間が無い
- 3. 対応する要員がいないため
- 4. 食料、飲料水の備蓄がないため
- 5. 本社社屋のセキュリティーに問題が生じるため
- 6. 来訪者の怪我人等に対応できないため
- 7. 事業の再開に支障をきたす恐れがあるため
- 8. 東日本大震災で受け入れ対応した結果、営業に資料が出たため
- 9. 社屋、設備、商品の損壊等が懸念されるため
- 10. その他

自由回答

→ [問55] (問51で3と回答の場合)その理由は何ですか。会社全体としての考えをお答えください。

下記の選択肢から該当するものを全て選び、その理由の重要度の高い順に数字で「回答欄」にご記入ください。(理由として該当しないものは、空欄で構いません。)

- 1. 建物の耐震性が不安であるため
- 2. 在館者に留まっていただけの空間が無いため
- 3. 対応する要員がいないため
- 4. 食料、飲料水の備蓄がないため
- 5. 本社社屋のセキュリティーに問題が生じるため
- 6. 在館者の怪我人等に対応できないため
- 7. 事業の再開に支障をきたす恐れがあるため
- 8. 東日本大震災で受け入れ対応した結果、営業に支障が出たため
- 9. 社屋、設備、商品の損壊等が懸念されるため
- 10. その他

自由回答

→ [問56] (問51で1又は2と回答の場合)留まった在館者や地域の帰宅困難者に対してどのような支援を考えていますか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入下さい。

● 3月11日より前から決まっている支援事項

● 3月11日を契機として実施することとした支援事項

- 1. 備蓄していた食料・飲料水を提供する
- 2. 備蓄していた簡易トイレを提供する
- 3. 商品のうち飲食できるものを無償提供する
- 4. 毛布を提供する
- 5. 救急用品を提供する
- 6. 電話を無償で利用可能とする
- 7. 自治体等から入手した物資を提供する
- 8. 地震、交通機関の情報を提供する
- 9. 自治体等が開設する避難所・待機所を案内する
- 10. その他

(自由回答)

11. 特になし

↳ [問57] (問56で1と回答の場合) 会社全体で何人日分を備蓄していますか
(従業員分は除きます)

下記の回答欄に数字をご記入下さい。

食料 人日分

飲料水 人日分

簡易トイレ 人日分

[問58] (在館者や地域の帰宅困難者を事業所内へ留める・留めないにかかわらず) 沿道において帰宅困難者に対して何らかの支援を行う考えはありますか。

1. 何らかの支援を考えている

2. 特に考えていない

↳ [問59] (問58で1と回答の場合) その内容はどのようなものですか。

下記の選択肢から該当するもの全て選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

● 3月11日より前から決まっている支援事項

▼ ● 3月11日を契機として実施することとした支援事項

1. 備蓄していた食料・飲料水を提供する

2. 商品のうち飲食物を無償提供する

3. トイレを提供する

4. 水道を利用可能とする

5. 救急用品を提供する

6. 電話を使用可能とする

7. 自治体等が開設する避難所・待機所を案内する

8. 地震、交通機関の情報を提供する

9. その他

↳ (自由回答)

[問60] 帰宅困難者の支援について、自治体との何らかの協定を結ぶ考えはありますか。

下記の選択肢から該当するものを一つ選んで「回答欄」に○をご記入ください。

<input type="radio"/>	1. 既に社として自治体との協定を締結している。
<input type="radio"/>	2. 既に社として自治体との協定を締結しているが、さらに充実を図りたい。
<input type="radio"/>	3. 既に事業所単位で自治体との協定を締結している。
<input type="radio"/>	4. 既に事業所単位で自治体との協定を締結しているが、さらに充実を図りたい。
<input type="radio"/>	5. 協定ではないが、社として自治体等から構成される帰宅困難者に関する協議会又は類似の会議体に参加している
<input type="radio"/>	6. 協定ではないが、事業所単位で自治体等から構成される帰宅困難者に関する協議会又は類似の会議体に参加している
<input type="radio"/>	7. 自治体からの要請があれば、協定の締結を検討したい。
<input type="radio"/>	8. 特に考えはない。
<input type="radio"/>	9. その他
	(自由回答)

→ [問61] (問60で1～4と回答した場合) どのような支援を行う協定となっていますか。

下記の選択肢から該当するもの全てを選び、「回答欄」に○をご記入下さい。

<input type="checkbox"/>	1. 建物に帰宅困難者を受け入れる
<input type="checkbox"/>	2. 備蓄している食料・飲料水を提供する
<input type="checkbox"/>	3. 自治体等から入手する食料・飲料水の配布を行う
<input type="checkbox"/>	4. トイレを提供する
<input type="checkbox"/>	5. 水道を利用可能とする
<input type="checkbox"/>	6. 救急用品を提供する
<input type="checkbox"/>	7. 電話を使用可能とする
<input type="checkbox"/>	8. 自治体等が開設する避難所・待機所を案内する
<input type="checkbox"/>	9. 地震、交通機関の情報を提供する
<input type="checkbox"/>	10. その他
	(自由回答)

[問62] どのような条件だと協定を結びやすいですか。

下記の選択肢から該当するものを全て選んで「回答欄」に○をご記入ください。

<input type="checkbox"/>	1. 帰宅困難者に提供する食料等の支援物資を自治体が配布する
<input type="checkbox"/>	2. 帰宅困難者等の誘導・警備に係る要員を自治体が配置する
<input type="checkbox"/>	3. 受け入れた帰宅困難者・滞留者に一定期間後退去していただける制度・体制を作る
<input type="checkbox"/>	4. 食料等の支援物資の購入費を自治体が費用負担する
<input type="checkbox"/>	5. 施設使用に伴う経費（水道費、光熱費等）を自治体が支払う
<input type="checkbox"/>	6. 施設使用に伴う損失を自治体が補填する
<input type="checkbox"/>	7. 何らかの税制優遇が得られる
<input type="checkbox"/>	8. 何らかの規制緩和措置（容積率の緩和等）が得られる
<input type="checkbox"/>	9. その他
	(自由回答)
	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	10. 分からない

～ご協力ありがとうございました～
以上でアンケートは終了です。